

福島第一原子力発電所 5・6号機の現状について (滞留水量の状況)

2017年9月28日

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

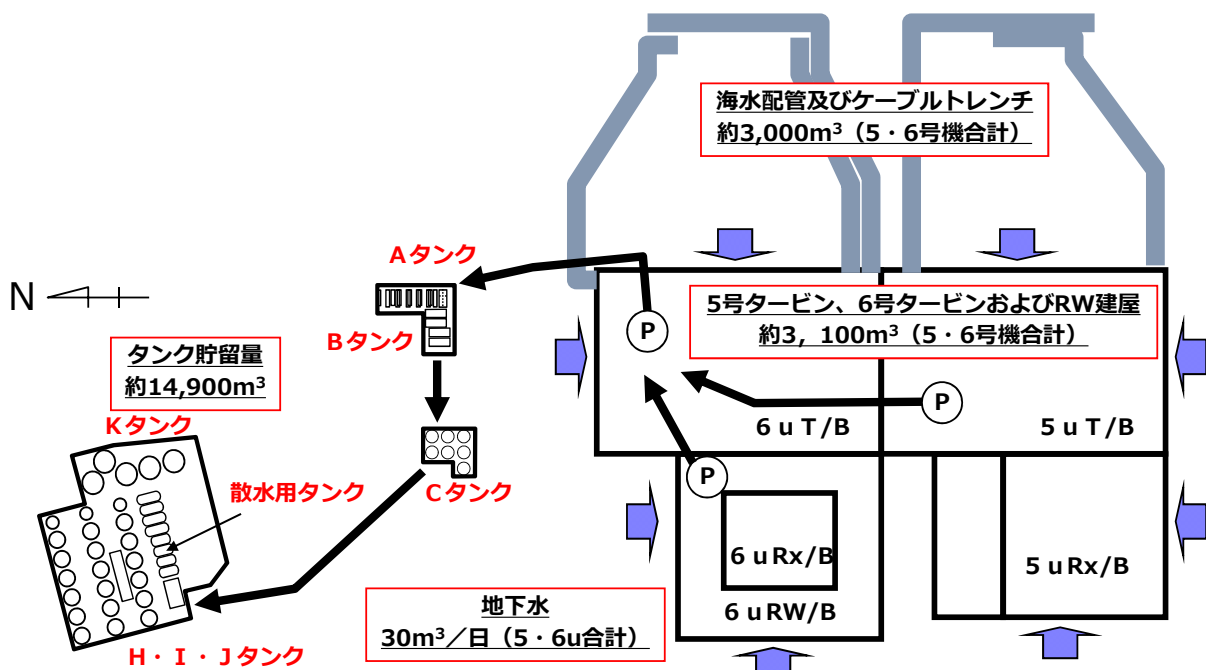
1

1. 滞留水量の状況

5・6号機滞留水の合計約30,000m³ (H29.9.21現在)

海

メガフロート
約9,000m³ (ろ過水, 海水)



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

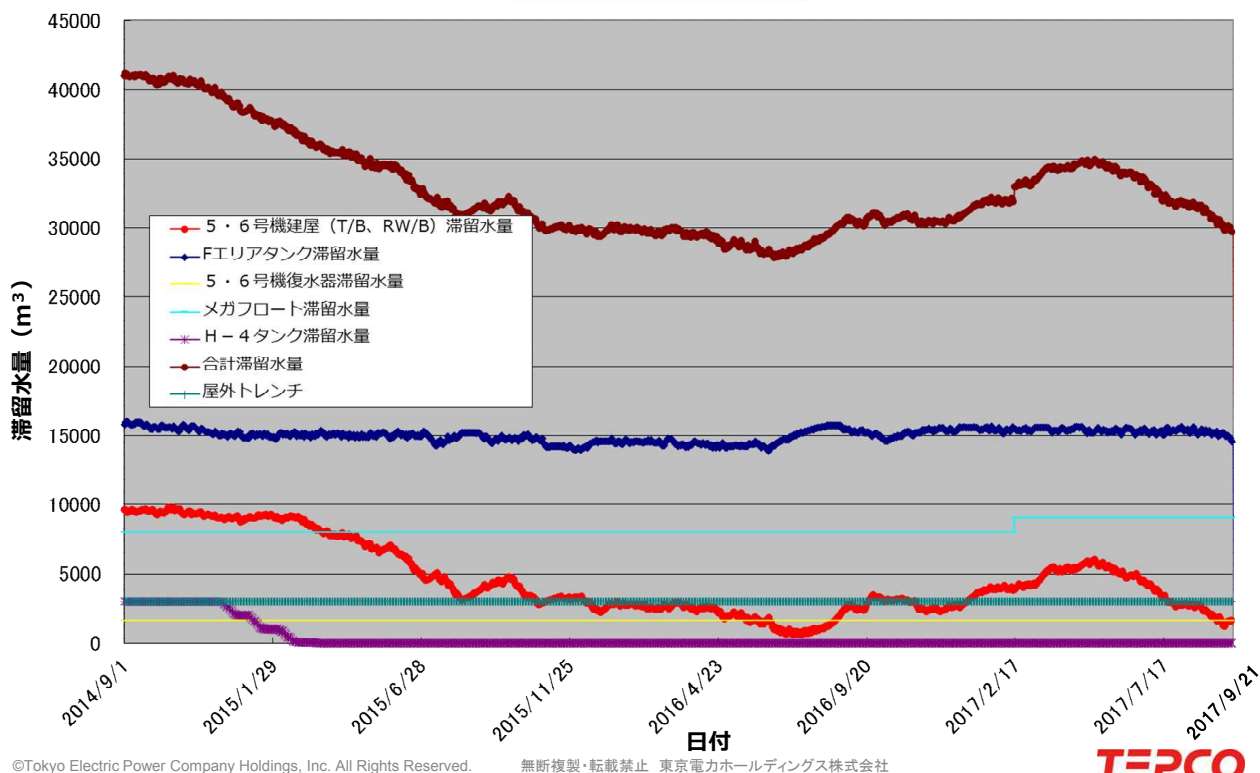
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

2. 滞留水量の推移

- 2014年9月から2017年9月までの滞留水の総量は以下のとおり

5・6号機滞留水量の推移



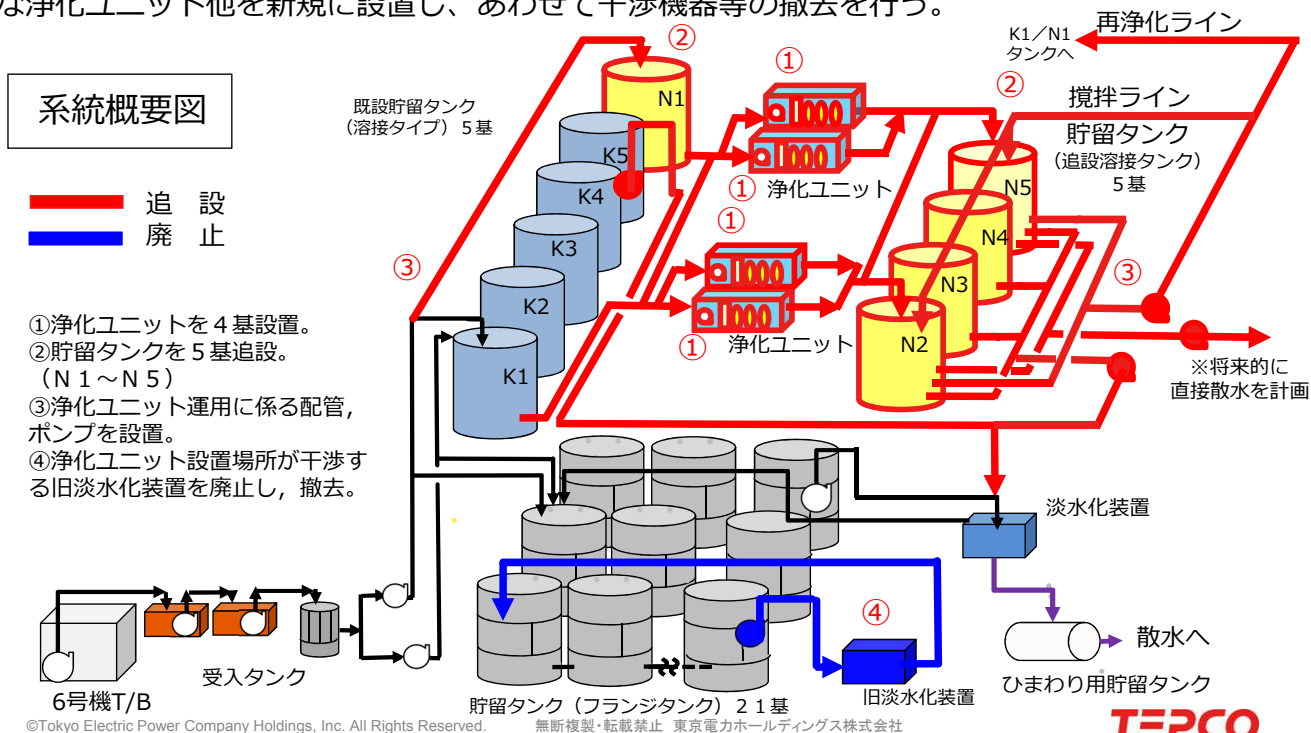
TEPCO

3

3. 5・6号機 滞留水貯留設備 浄化ユニット他設置工事について (1/2)

淡水化装置（RO膜）による水処理では、塩分濃度が高い濃縮水が発生し、再濃縮に伴い、主に塩分の影響でRO膜が詰まり易くなり、設備稼働率が低下する。

これより、今後の継続的な安定運転に資するため、濃縮水の発生量を抑制することが可能な浄化ユニット他を新規に設置し、あわせて干渉機器等の撤去を行う。



TEPCO

3. 5・6号機 滞留水貯留設備 浄化ユニット他設置工事について (2/2)

- スケジュールは以下の通り。なお、施工状況、許認可状況等により変更する可能性が有る。

年度	2017年度												2018年度				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
浄化ユニット 他設置工事		実施計画申請 ▼															
				準備工事						旧淡水化装置撤去・浄化ユニット他設置							
																運用開始	